

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月9日
派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (3日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県生涯学習推進センター		代表者名	森田利洋
担当者部署	愛知県生涯学習推進センター		連絡先電話番号	052-961-5333
担当者役職	主事	担当者氏名	嶋田淳子	連絡先E-mail
住所	460-0001 愛知県名古屋市中区三の丸三丁目2番1号			

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	愛知県教育委員会	連絡先部署	生涯学習課	
担当者氏名	加藤 潤	連絡先電話番号	052-954-6781	連絡先E-mail

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	大辻 雄介
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	受講している方を常に意識して、インタラクションを交え、非常にわかりやすく学習の在り方を紹介するなど、魅力的な講義をしていただきました。
アドバイザーへの要望事項	現在の学校情報化の状況やその理想像をわかりやすく受講者に伝えていただきたい、という当センターの要望に、とても丁寧に実施いただきました。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年11月3日	10時00分	11時30分		90
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	愛知県民	76 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	県民 (主に学生を持つ家族) が、ICT教育について期待を寄せながらも、学校での学習風景が今どのようになっているのか、今後はどのような学力が必要になってくるのかなど、様々な不安を抱えている状況であること。また、子どもを支える立場の保護者世代が現在の情報化社会のありようをきちんと理解できていない状況であること。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	受講者 (県民) に寄り添い応援するスタンスの講義の受講により、現在学校で進められているGIGAスクール構想始め、子どもたちが送り出されるSociety5.0時代を理解し、どのような工夫で子どもたちの学びの後押しができるかなど、意識の底上げを図りたい。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	現在の学校の状況からあるべき姿、また、Society5.0時代に必要な力など、わかりやすく講義いただいた。また、受講者からの質問にも丁寧に寄り添い回答をいただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	現在の学校教育の様子がよく分からず不安を感じていた受講者らも、そのあるべき姿と家庭教育の環境をいかに整えるかなど、カルチャーショックに近い情報量だったが、一様に知ってよかったと喜びの声が届けられた。目的とする意識の底上げにつながったと思われる。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	<input checked="" type="radio"/> その他
	非常に興味深い講義の受講により、県民の意識改革につながった。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 スマートフォンでの視聴等接続がうまくいかない事例もあったが、ふりかえり配信で対応。アンケート集計表を添付。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	<input checked="" type="radio"/> ②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	全県民が、現在子どもたちの学習環境としてある「ICT」を始めとした情報化社会を正しく理解し、次代を担うすべての若者が、等しくその環境を得られるようになること。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

